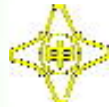


絆



kizuna

八千代第一中学校 学校だより

学校教育目標

鋭い知性・温かい心情・強い意志と身体をもった生徒の育成

<社会を生き抜く5つの行動目標>

・時間・挨拶・清掃・服装・言葉遣い

回覧

第1号 令和8年4月10日

令和8年度がスタートしました

始業式の校長先生のお話より

令和8年度を迎えて ～「5つの行動目標」の習慣化と「折り合い」を付けること～

八千代第一中学校長

いよいよ令和8年度がスタートしました。

それぞれが夢、目標をもって登校したことでしょう。みなさんの、今の目標はなんですか。令和8年度という新たな節目を迎えて、明確な目標をもつことはとても大切なことです。目標をしっかりと持って、それに向けて努力する、地道な努力を続けることは、目標を達成するために必要なことです。どうか、それぞれの目標に向かって継続的な努力ができるようにがんばってください。

さて、その目標達成のために大切なことを2つお話します。

1つ目は、一中の行動目標の習慣化です。「時間・挨拶・清掃・服装・言葉遣い」。目標を達成するのに、スマホに夢中で、自分で決めた時間に学習が始まれば、目標を達成することはできません。これを日頃からしっかりやることで、大谷選手のように「運」も自分の力にできるようにしたいです。

2つ目は、「折り合い」を付けるということです。「折り合い」を付けるとは、お互いに納得できる方法を見つけることです。みなさんは、新しい学級でこれから1年間生活をしていくわけですが、自分の考えと全く同じ人が30人集まっているわけではありません。たとえ仲良しでも、気持ちや、考え、意見もそれぞれです。これは、みなさんが高校に進学しても、会社に入っても同じです。八千代一中の先生方もそうです。先生方も、各自の意見をもっています。意見が違うことだってたくさんあります。そんなとき、大切なことは、まずは相手の話をよく聞くことです。「あなたはそう考えるんですね。なるほど。私はこう考えます」。自分の主張よりも、まずは相手にも気持ちや考えがあることを知って、相手の考えを理解し、それを受け止めることをします。そして、歩み寄って中間の考えに寄せていくことをします。これが折り合いを付けることです。

しかし、時には「AかBか」、「白か黒か」、「0か100か」というふうにしかなることができない場合があります。この場合、折り合いをつけるのはとても難しいです。そんなときは、お互いに相手のことを思いやるのが大切です。「僕は絶対これじゃなくちゃ嫌だ」、「そんなこと言うんなら私はやらない」、となるから学級や部活動でトラブルがおこるので、そうならないために「譲る経験、譲ってもらう経験」をすることも大切です。どちらかではなく、どちらも経験することが、これからの人生の大きな糧になるはずです。

最後に、感情的にならないことです。感情的になると、言う必要がないことも言うてしまう可能性があります。「話し方」や「考え方」を変えて、自分から変わることも大切です。「話し方」や「相手への伝え方」は本当に大切です。この力は、いい学級、部活動づくりに欠かせない力だと思います。

今後、学級で、部活動で、いろんな意見、考えが出たとき、一度「折り合いを付けよう」と考える人が多くなって、感情的でなく話し方、相手への伝え方について思いやれる人が多くなって、そうするとすごくいい集団ができると思います。

1年間、みなでいい学級、いい学校をつくるために協力し合っていきましょう。

【新任式・始業式・入学式の様子】



